学校だより
三年先の稽古
発行：校長　益子　朗

大信中あったか家族の５ケ条
- **第一条**　相手のよいところを見つけよう
- **第二条**　笑顔であいさつしよう
- **第三条**　お互いの気持ちを大切にしよう
- **第四条**　約束を守ろう
- **第五条**　気軽に相談し合おう

校長のつぶやき

「フィカス・ベンガレンシス」。ゴム科に属する観葉植物だそうです。前任の笹沼校長先生にお聞きしたところ、何年も前から校長室にあったようです。

私が大信中に着任したとき「彼」はたくさんの大きな葉っぱを青々とさせていました。しかし冬場になると、落葉樹ではないのに、葉っぱが１枚、また１枚と枯れ落ちてしまい、とうとう「最後の一葉」になってしまいました（三森先生に調べてもらったところ、「フィカス・ベンガレンシス」は元来乾燥を好むとのこと。私の水のやり過ぎが悪かったのかもしれません）。

しかし１枚でも葉っぱが付いている以上、「彼」は生きているのだから、最後まで面倒を見ようと、枯れ枝を切り取ったり、葉っぱに霧吹きをしたり、少しだけ肥料をあげたりしてきました。

すると・・４月に入り、幹の途中からぽつんと１ミリほどの芽のような膨らみが見られるようになりました。注意深くみていると、１つ、また１つと、その芽が増えてきました。そしてその芽が大きく膨らんで、やがて新しい葉っぱが次々と成長し始めたのです。

現在のフィカス・ベンガレンシス

何という生命力でしょう。私も葉っぱが増える度、とても嬉しくなりました。

以前、学校にあった鉢植えを、つい手入れを怠って枯らしてしまったとき、先輩の先生に、**「花も育てられない人間に、人が育てられるか！」**と、一喝されました。その一言が心に残り、諦めないで世話をしたら、「彼」が応えてくれたのです。

今度の中体連では、強敵に当たります。いつも優位に試合を進められるとは限りません。もし劣勢で最終回２死とか、マッチポイントとか、絶体絶命のピンチを迎えたとしても、簡単にあきらめてはいけません。自分を信じなければ奇跡の逆転は起こり得ません。

葉っぱ１枚になっても、厳しい冬を越して立派に再生した「フィカス・ベンガレンシス」。私たちは「彼」を見習わなければなりません。

ソフトテニス部男子

卓　球　部

バレーボール部

軟　式　野　球　部

ソフトテニス部女子

バドミントン部

頑張れ大信中！
県南中体連総合大会選手壮行会

５月24日（金）、県南中体連総合大会各部の活動選手壮行会が諸君はわれま凜々しくたれぞいた。

ユニフォーム姿にて入場し、まるで別部。

大会に向けて試合を見て、仲間と互いに勇気を出し合おう。

同じ目的の焼き付けて、当日はそれぞれ支えあたりませんし。

ユニフォーム姿の壮行機会では、お互いを思いやりの心を表明し、決意を表明しました。

大会に向けて頑張っていることはいつもの支えになっています。

３年生にとってはこの中体連が、県大会・東北大会・全国大会へと続く道の第一歩となります。

６月４日（火）からの県南大会へと切り替わって、頑張ってきたことを全て出し切ってください。

２年生・１年生もそれぞれ先輩と力を合わせて、チームとして全力で戦います。

健闘を祈ります。

応援団や音楽部、そして全校生の熱い応援、有り難う！

勢揃いした選手

心を一つにしての応援

入退場は音楽部の生演奏

頑張った応援団